

24 インド

アッサムガスタービン発電所・送電線建設事業(I)(II)(III)



本事業により建設されたアッサムガスタービン発電所

[借款概要]

承諾額/実行額	59,373百万円 / 52,919百万円
借款契約調印	1987年3月～1995年2月
借款契約条件	金利2.6%～4.25%、返済30年(据置10年)
貸付完了	1997年2月～2001年4月

[事業概要]

インド北東部アッサム州で燃失している石油随伴ガスを有効利用する、ガスコンバインドサイクル発電所及び関連送・変電設備を建設し、電力事情の改善を通じ民生の向上及び産業発展に資するもの。

[評価結果]

本事業により、出力約291MWの発電所、関連送・変電設備(送電線総延長1,200km、6変電所)が完成した。工期はインド国内の手続きの遅れや治安上の問題から約4年の遅延となった。

発電量は、事業完成の1999年以降、平均して目標値の93.7%(年平均で1,183GWh)となっている。また、過去4年間の北東部における総発電量の約25%を賄っており、同地域の電力需給の改善及び電力の安定供給に重要な役割を果たしている。

本事業の維持管理体制に特段の問題はなく、実施機関の財務内容も健全である。

なお、2002年に最大の顧客であるアッサム州電力庁が、売電価格が高価であるとして電力購入をとり止めるという事態が一時的に発生したが、その後同庁への売電は再開された。電力価格については、電力セクター改革の動向を注意深く観察する必要がある。